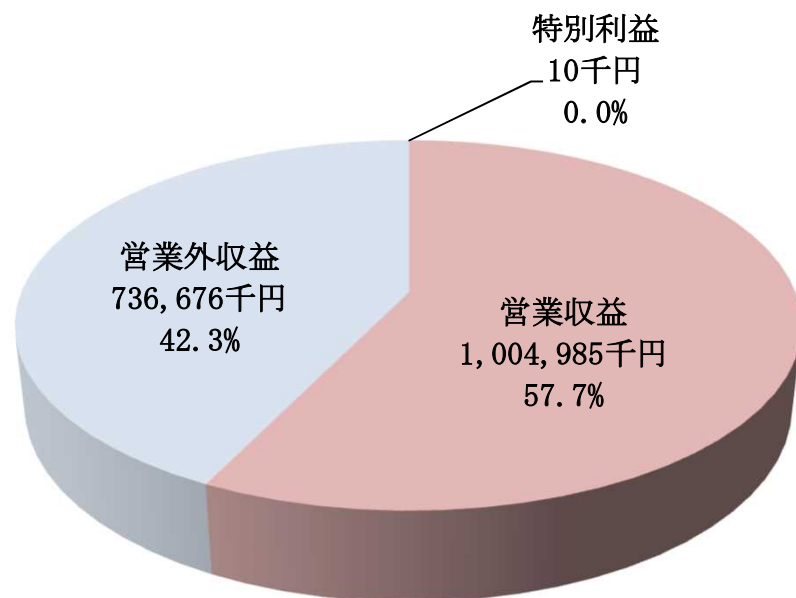


(2) 令和3年度下水道事業予算について

【資料2-1】

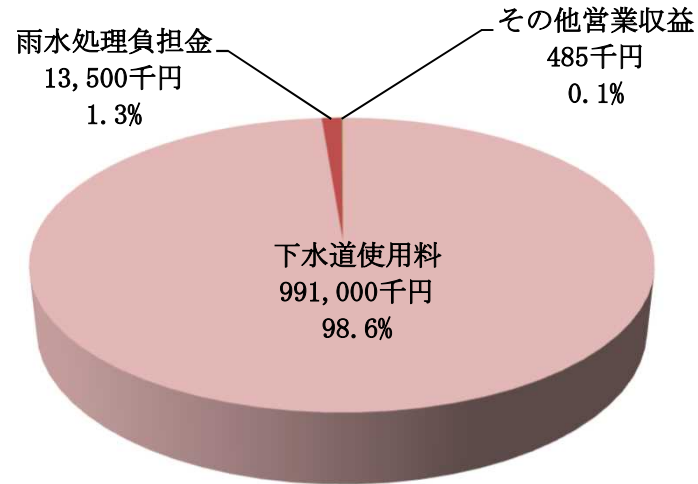
下水道事業
収益的収入及び支出（3条予算）
予定額 1,741,671千円

- 収益的収入は営業収益（主に下水道使用料）と営業外収益（主に他会計負担金）、特別利益で構成されています。
収入のうち約42%が営業外収益となっています。



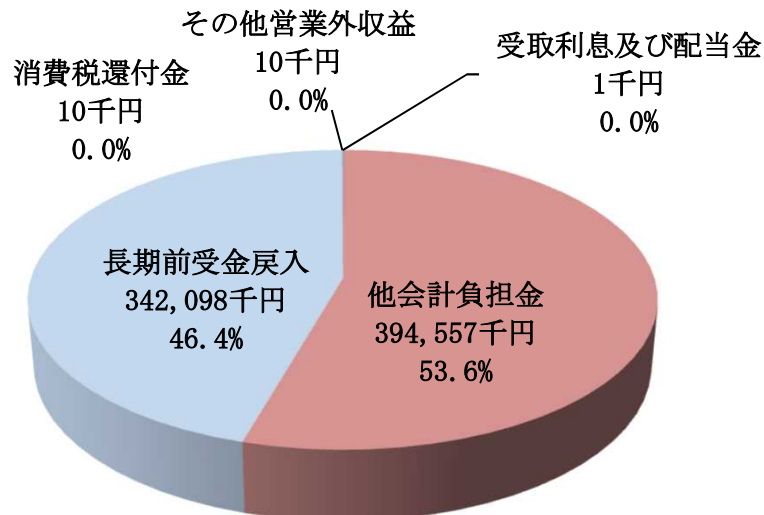
	令和3年度 予算額 (千円)
営業収益	1,004,985
下水道使用料	991,000
その他の収益	13,985
営業外収益	736,676
他会計負担金	394,557
長期前受金戻入	342,098
その他の収益	21
特別利益	10
合計	1,741,671

下水道事業 営業収益の構成



- **営業収益**
営業収益の約99%が下水道使用料となっており、次に雨水処理負担金となっています。

下水道事業 営業外収益の構成



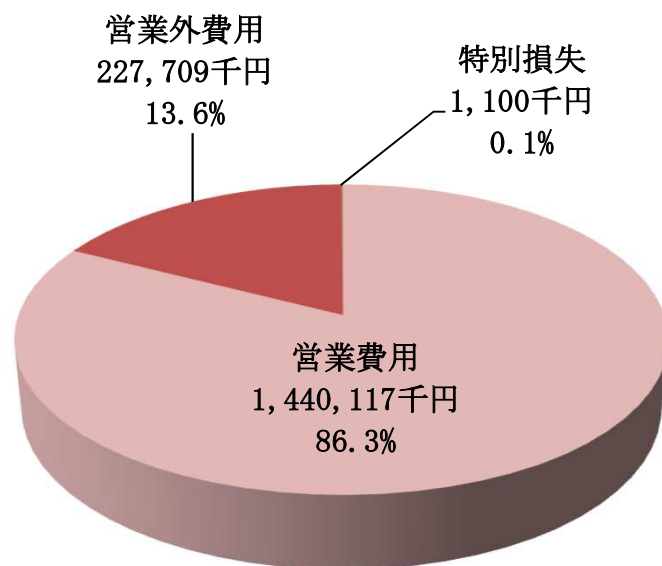
- **営業外収益**
営業外収益のほとんどが他会計負担金、長期前受金戻入となっています。

※長期前受金戻入・償却資産の取得または改良に伴い交付される補助金などについては「長期前受金」として負債（繰延収益）に計上し、減価償却見合分を収益化しているものです。

下水道事業 特別利益の構成

	予算額(千円)
過年度損益修正益	10

下水道事業 費用の構成



●特別利益

特別利益は事業を展開していく上で通常発生しないもの、例外的に発生した利益を計上しています。

●営業費用

営業費用の約66%が減価償却費となっており、次に流域下水道維持管理負担金、総係費、管渠管理費、ポンプ場費となっています。

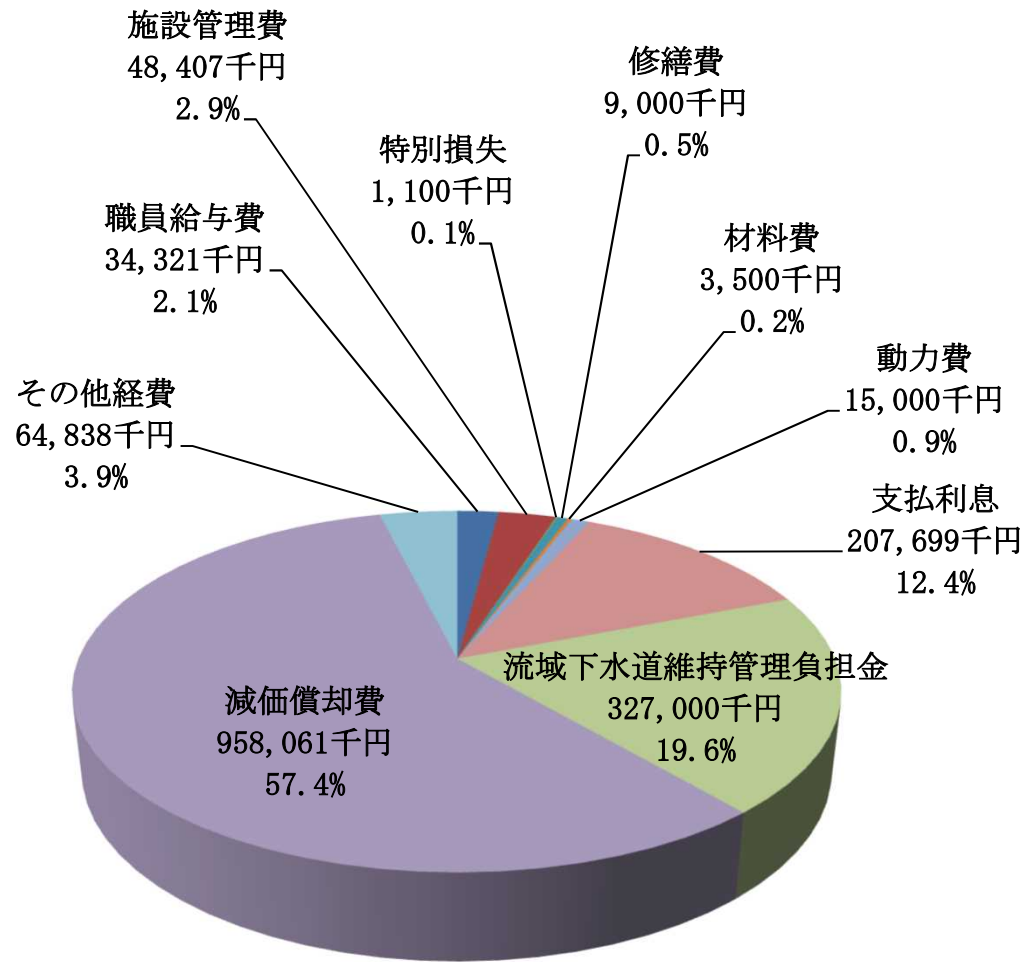
●営業外費用

営業外費用のほとんどが支払利息及び企業債取扱諸費となっています。

●特別損失

特別損失は事業を展開していく上で通常発生しないもの、例外的に発生した損失を計上するものとなっており、過年度損益修正損が約90%を占めています。

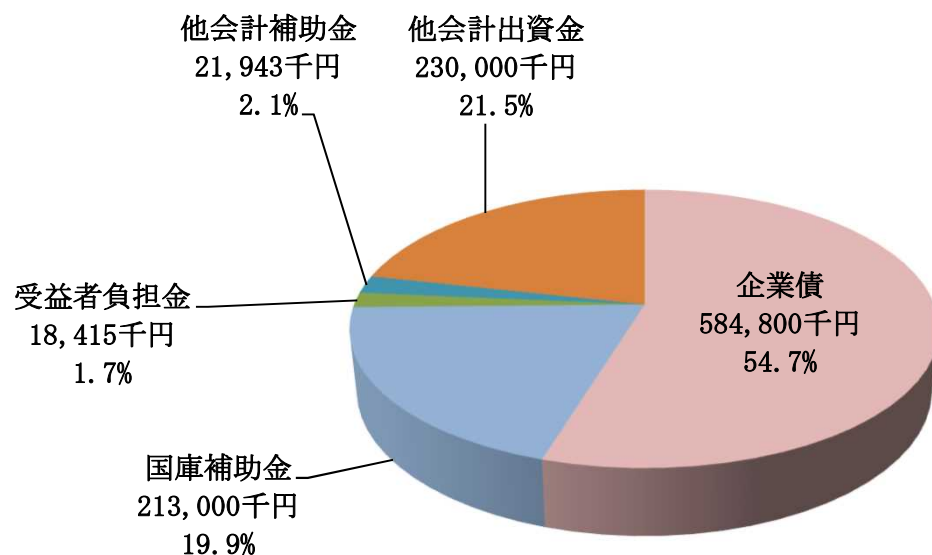
下水道事業 費用要素別構成



区 分	予算額 (千円)
職員給与費	34,321
施設管理費	48,407
修繕費	9,000
材料費	3,500
動力費	15,000
その他経費	64,838
流域下水道維持管理負担金	327,000
減価償却費	958,061
企業債利息	207,699
特別損失	1,100
合 計	1,668,926

下水道事業
資本的収入（4条予算）
予定額 1,068,158千円

下水道事業 資本的収入の構成



- 資本的収入は企業債・国庫補助金・下水道受益者負担金・他会計補助金・他会計出資金で構成されています。
- 資本的収入の内訳の大部分を企業債が占めており、次に国庫補助金、他会計出資金となっています。

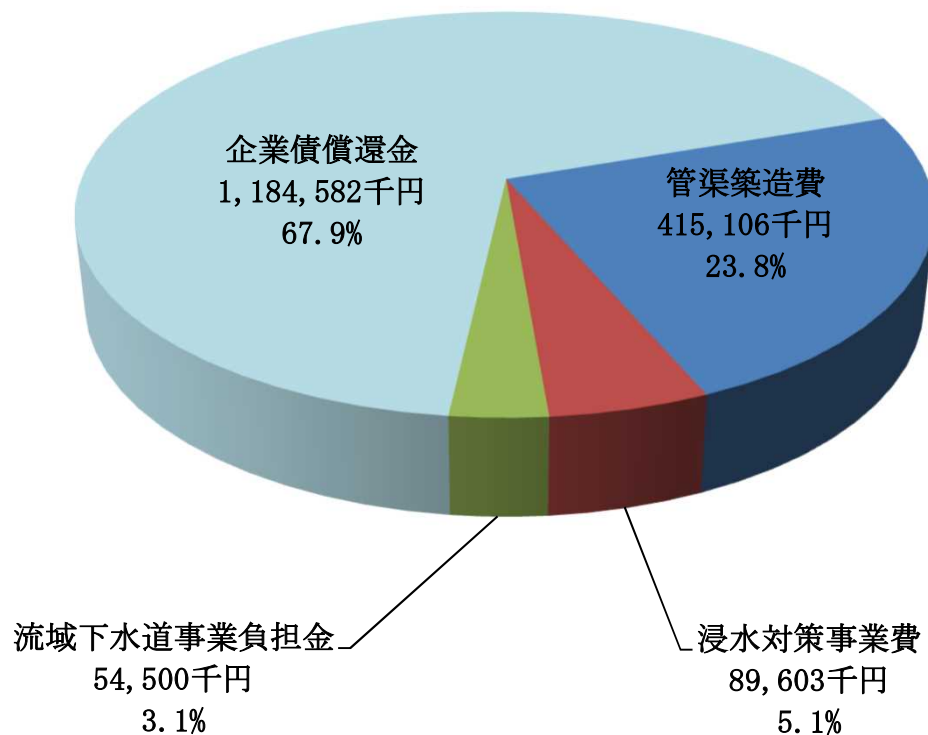
	予算額(千円)
企業債	584,800
国庫補助金	213,000
受益者負担金	18,415
他会計補助金	21,943
他会計出資金	230,000
合計	1,068,158

下水道事業

資本的支出（4条予算）

予定額 1,743,791千円

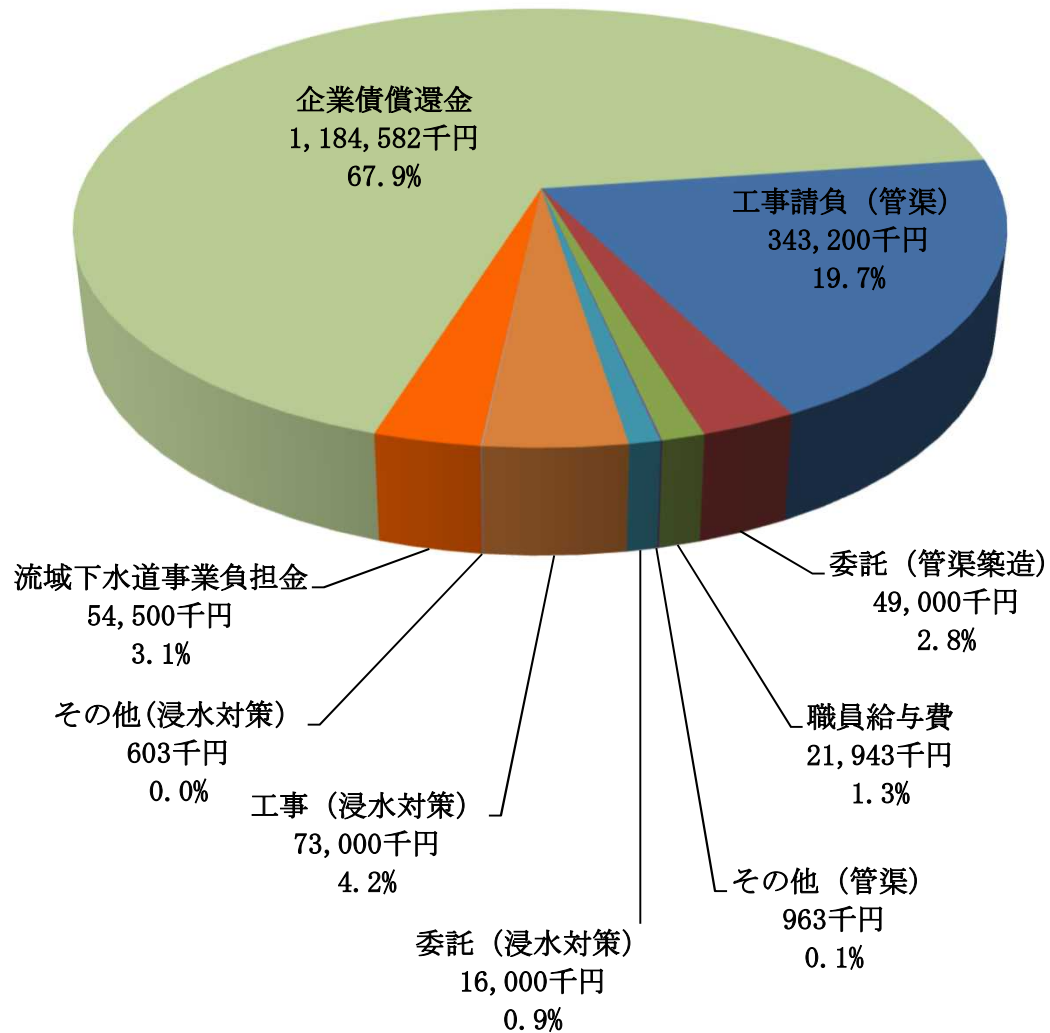
下水道事業 資本的支出の構成



- 資本的支出の内訳ですが大部分を企業債償還金が占め、次に管渠築造費、浸水対策事業費、流域下水道事業建設負担金となっています。
- 資本的収入額が資本的支出額に不足する額については、消費税資本的収支調整額及び減価償却費等を原資とする損益勘定留保資金等で補填することとなります。

	予算額(千円)
管 渠 築 造 費	415,106
浸 水 対 策 事 業 費	89,603
流域下水道事業負担金	54,500
企 業 債 償 還 金	1,184,582
合 計	1,743,791

下水道事業 資本的支出要素別構成



区 分	予算額 (千円)
管渠築造費 (職員給与費)	21,943
管渠築造費 (事務費)	963
管渠築造費 (委託料)	49,000
管渠築造費 (工事請負費)	343,200
浸水対策事業費	89,603
流域下水道事業負担金	54,500
企業債償還金	1,184,582
合 計	1,743,791

下水道事業 企業債現在高の推移

(単位：百万円)

年度	平成 22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和 元年度	2年度
年度末 現在高	18,331	17,909	17,598	17,310	16,999	16,687	16,175	15,541	14,981	14,428	13,791

